

議会閉会中の委員会活動

高山市議会では、毎月、総務環境委員会、福祉文教委員会、産業建設委員会の3つの常任委員会等を開催し、市の重要事項について執行部から協議・報告等を受け議論を行うとともに、市政に関する調査研究活動を行っています。

● 総務環境委員会 ●

◆「脱炭素先行地域づくり」事業の野麦小水力発電所を視察

高根町野麦の現地にて、阿多野郷・野麦小水力発電（株）や、地元関係者より、10月に完成した小水力発電所の売電までの歩み・施設概要について説明を受け、その後発電所、放水口や取水施設を見学した。この地域の豊富な水や急峻な地形の高低差を生かした小水力発電により、クリーン電力を新電力会社に売電する。地域の住民の方に約300戸分供給でき、通常より安価な電力の提供となることや、管理業務等などで4名の地域雇用が創出されるなど、地域の活性化の効果も期待される。（地域の特性を生かした自然エネルギーの地産地消）

さらに、地元事業者の参入、来訪者の増加、人口減少の緩和など地域課題の解決や地域内資金の循環の実現など波及効果を高めると期待できる。なお、事業総工費は、5億2千万円。



● 福祉文教委員会 ●

◆荘川義務教育学校（仮称）整備工事の現地調査

荘川義務教育学校は、小学校と中学校の小中一貫校として義務教育学校及び保育園を併設し整備を進めています。

1階中央には、職員室や保健室が設置され、東側には給食センターを整備、その隣には、学校ラウンジ兼ランチルームが整備され、こども達が楽しく給食が食べられる場所となっています。特に内装には多くの木材を活用するなど木質化を図るとともに、エレベーターを設置するなどバリアフリー化を推進しています。

2階では、各教室と廊下との壁を取り除いて解放感のあるオープンスタイルとして学びができるよう工夫がされていました。

また、特に寒冷地域という配慮から、断熱性の向上や暖房設備では、ガスファンヒーターが教室はもとより廊下にも設置されていました。

さらに、豪雪地域であることから、落雪の危険からこども達を守るため外通路には屋根の整備が進められていました。



● 産業建設委員会 ●

◆高山市公設地方卸売市場新築工事の現地調査

令和5年10月から工事が始まり、令和7年3月に工期が終わる高山市公設地方卸売市場の工事について、11月20日に現場を確認しました。

現在の市場は、昭和50年の開設以降、飛騨地域の食の流通の拠点として運営されてきましたが、老朽化に伴い、現在の駐車場に新市場が建設されることとなりました。

新市場は鉄骨2階建てとなり、青果や魚の鮮度を保ったまま出荷できる冷蔵・冷凍設備が導入される予定です。

現地調査では大きな課題はなく順調に進んでいることを確認しました。

